

2016年2月5日

各位

2016年『カーボンブラック』需要見通し

カーボンブラック協会

平成28年1月の内閣府基調判断によれば、国内景気は個人消費が総じて底堅く、雇用情勢も改善傾向にあり、また生産や設備投資も概ね横ばいとなっており、緩やかな回復基調が続いているとしている。

また、世界の景気は、アジア新興国等において弱さが見られるものの、全体としては緩やかな回復基調としているが、今後の米国の利上げ動向、中国経済の減速、原油価格の下落及び地政学的リスクなど今後の景気動向に影響する不安定要素も多く、留意が必要としている。

こうした経済展望の中で、カーボンブラック需要の主力製品である自動車タイヤの需要については、(社)日本自動車タイヤ協会が、又ゴム産業全体の新ゴム消費量は日本ゴム工業会が各々2016年の見通しを公表した。

これによると、新ゴム消費予想量ではタイヤ用で昨年比0.4%の増、タイヤ以外の一般ゴムで2.1%の増となり、ゴム産業全体では0.8%のプラスとなると予想している。

弊協会では、これら(社)日本自動車タイヤ協会と日本ゴム工業会の見通し(予想)をベースに、輸出入の状況等も織り込んで、2016年のカーボンブラック需要の見通しを行った。その結果、カーボンブラック総需要(輸出入込み)は、前年比0.7%のプラスとなった。

なお、「需要見通しの指標」については、添付別紙【表1】を、「カーボンブラック需要見通し」については【表2】を、輸入見通しについては【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2016年需要見通しの指標

『新年見通し』の前年比は前年見込み比%

	2014年実績		2015年実績見込み		2016年見通し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
自動車生産 (台)	9,774,665	102	9,242,000	95	9,341,000	101
タイヤ生産 (トン)	1,121,060	99.4	1,064,350	94.9	1,068,610	100.4
一般ゴム生産 (トン)	272,140	100.6	267,050	98.1	272,790	102.1
新ゴム消費量計(トン)	1,393,200	99.6	1,331,400	95.6	1,341,400	100.8

【表2】 2016年カーボンブラック需要見通し

数量単位;トン、『新年見通し』の前年比は前年見込み比%

	2014年実績		2015年実績見込み		2016年見通し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
タイヤ	562,772	98.8	534,304	94.9	535,374	100.2
一般ゴム	155,120	100.6	152,219	98.1	155,490	102.1
ゴム用計	717,892	99.2	686,522	95.6	690,864	100.6
非ゴム	37,981	103.0	37,116	97.7	37,000	99.7
内需計	755,873	99.4	723,638	95.7	727,864	100.6
輸出	49,094	107.5	48,091	98.0	49,500	102.9
[内ゴム用計]	12,577	92.7	17,588	139.8	14,700	83.6
総需要	804,967	99.8	771,729	95.8	777,364	100.7
[内ゴム用計]	730,469	99.1	704,110	96.4	705,564	100.2

【表3】 2016年カーボンブラック輸入動向

数量単位;トン、『新年見通し』の前年比は前年見込み比%

	2014年実績		2015年実績見込み		2016年見通し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
ゴム用	169,774	109.2	160,573	94.6	154,154	96.0
非ゴム用	16,791	109.0	15,880	94.6	15,246	96.0
合計	186,565	109.2	176,453	94.6	169,400	96.0

以上